

## ① 教材・教具，支援ツールの効果的な配置

- ・ 注目しやすい提示方法の工夫
- ・ 必要なもののみ提示
- ・ 動線に合わせて配置
- ・ 視線の動きに合わせて配置



提示したものに注目しやすいように，必要なもののみを提示する。



注目しやすいように，児童生徒の正面に配置する。



注目しやすいように，教具は児童生徒の見えやすい高さに提示する。



友達に視線を向けたり、手に触れたりして、友達に意識を向けることができるように、クッションを真ん中に配置する。



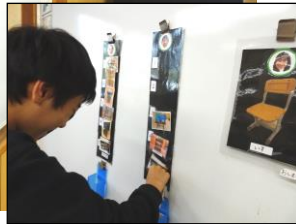
活動の切り替え時間を意識しやすいように、タブレット端末でタイマーを示し、ホワイトボードに掲示する。



お互いの動きを確認したり、指示を出したりできるように、各作業場所からお互いが見える位置に机やワゴンを配置する。



自分で道具を準備し、活動に向かうことができるように、係で使う物を入れておく棚を設置したり、机の横に道具を掛けておいたりする。



自分で運ぶ物の確認を行いながら動くことができるように、ボードを常に見える位置に設置する。



視線の動かし方、見え方に配慮した配置を工夫する。